

教育長定例記者会見 会見録

日時：平成29年10月2日 14時30分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・第5回科学の甲子園ジュニア三重県大会

質疑事項

- ・発表項目に関する質疑
- ・県立高等学校入学者選抜制度検討会について

発表項目

(教育長) 本日は1つの項目について記者発表をさせていただきます。10月7日(土)に、「第5回科学の甲子園ジュニア三重県大会」を開催します。場所、日時については資料のとおりで、10月7日(土)男女共同参画センターにて行います。

この大会は、12月に開催される「第5回科学の甲子園ジュニア全国大会」に出場する三重県代表チームを選考する大会となっております。

大会の目的は、1つ目は、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知ること、科学と実生活・実社会の関連に気付くこと、それらによって科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することです。

2つ目は、科学好きの裾野を広げること、それとともに未知の分野に挑戦する探究心や創造性を育成することです。

三重県大会では、8月22日に予選を開催し、筆記競技の結果で成績上位の12チームが実技競技に挑戦することになります。

競技内容、課題は大会当日に発表され、チームは、課題を分担、相談するなどして取り組んで成果を競います。

競技内容というのは、当日明らかにされますが、例えば、与えられた材料のみを使って振り子を作成し、作成した振り子を使って、問題に解答するとか、折り紙を使って、決められた形を折って、その折り方に関する問題に解答するとか、紙などの材料のみを使って、大きさや形、強度などの条件を満たす構造物を制作するなど、これまでに学んだ知識や技能を活用して、その場で試行錯誤しながら、問題に解答したり、問題を解決したりして、その成果を競います。

全国大会には、三重県代表チームとして、実技競技の得点と予選の筆記競技の得点を合計した総合成績の上位2チームが6人一組のチームを結成して出場します。この全国大会は、つくば市で12月1日(金)から3日(日)にかけて開催されます。

この県大会で高いレベルで競ったチームが、全国大会で好成績を挙げてくれることを期待しています。

最後に、県教育委員会としましても、より多くの方々にこの大会について知っていただきたいと考えております。一方で、大会の規定により、競技内容の詳細は非公開にしてある関係上、当日の取材、報道に関しましては、競技内容の詳細が伝わるような映像や表現を控えていただく部分がございます。ご協力をお願いしたいと思います。

映像や表現を控えていただく具体的な内容については、当日、ご確認いただけるよう、資料をお渡しますので、ご了承をお願いしたいと思います。

発表項目に関する質疑

(質) これは三重県としては5回目まで全部出ているんですか。

(答) 出ています。私立とか国立の付属中学校であるとか、公立であるとかどのチームかは参加しています。

(質) 科学技術振興機構ってJSTのことでいいんですか。

(答) そうです。

(質) JSTがやっていて、県内はどこが仕切ってるんですか。

(答) 県内では、県教育委員会小中学校教育課がやっています。

(質) 問題は全国共通なんですか。

(答) いえ、それぞれのところで作成します。

(質) 三重県の学校の先生方が問題を考えられるということですか。

(答) 学校の先生という訳ではないですが、教育委員会事務局とか三重大学の学生でありますとか、それから理科教育で研究会をつくってますので、その先生方がということです。

(質) 今聞いた話だと、たぶん最初の振り子は物理で、次の折り紙というのはたぶん位相幾何学とかそういう数学の分野だと思うんですけど、生物学とか地学とかも含めた、いわゆる数理科学全般という理解ですか。

(答) 全般ですね。ただ、全部が出るわけではございませんので、あくまでも例です。

(質) この分野だということですね。あと前提知識としてはどのくらいの知識なんですか。

(答) 中学校1年生ですね。でも結構レベルは高いです。

(質) たぶん予備知識とレベルの高さって別の問題だと思いますけれども。少ない予備知識でも難しい問題は作れると思うし、その辺どういう設定になっているんですか。

(答) 今度の県大会につきましては、予備知識というよりは、当日課題をみて、いかに工夫をするかというところが大事になってくるかと思います。

(質) つまり、中学校1年生程度の理科の前提知識があれば、その中で発想力が問われるという理解でいいですか。

(答) はい。

(質) ちなみに今まで県代表チームの成績って、全国的にはどのくらいなんですか。

(答) あまりかんばしくはないという状況です。過去において全国大会で入賞したということはありません。

その他の項目に関する質疑

○県立高等学校入学者選抜制度検討会について

(質) 明日でしたっけ、越境入学の検討会は。

(答) 越境入学という言葉があれですけど、明日あります。

(質) 進展等は今どんな状況でしょうか。

(答) 第2回まで開催をさせていただきまして、現在のところ、県外から入学することについて、全国の状況がどうであるとか、全国で入学したことによってどのような効果があったであるとか、そういうことを調べるということで、その資料を作成して、明日ご提示をして皆さんからご意見をいただくというような準備を進めています。

(質) 明日段階も全国の状況をみたくて議論するという段階で、そこで決定をするという段階ではないということ？

(答) まだないです。

(質) 決定の時期の見通しはいかがでしょうか。

(答) 何回も申し上げてますが、31年度の入試の子が間に合うようにということなので、前も申し上げたかも知れませんが、2月の終わりまでには結論を出しきらなくてはいけないという状況で進めています。前後するかも知れませんが、今そんな状況です。

(以上) 14時41分 終了